



関中央ロータリークラブ

2018-2019 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：関市池尻 91-2
事務局：関市西本郷通 5-2-53 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278
会長 波多野篤志 副会長 古田博文 幹事 吉田和也 クラブ会報委員長 塚原康寿

2018~2019年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ
「自ら行動するロータリーへ！」



インスピレーションになるう

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第1974回例会 2019年4月25日(木)

「C. A地区研修・協議会報告」 / 担当 次期会長・次期幹事

前例会の記録 第1973回 2019年4月11日(木)
「青協建設 新社屋見学例会」 担当 会計監査

*ご挨拶

青協建設株式会社

代表取締役社長 各務 剛児様



新社屋につきましては、地域の防災拠点であり、地域に貢献できる建設会社を目指すというのが基本方針となっております。

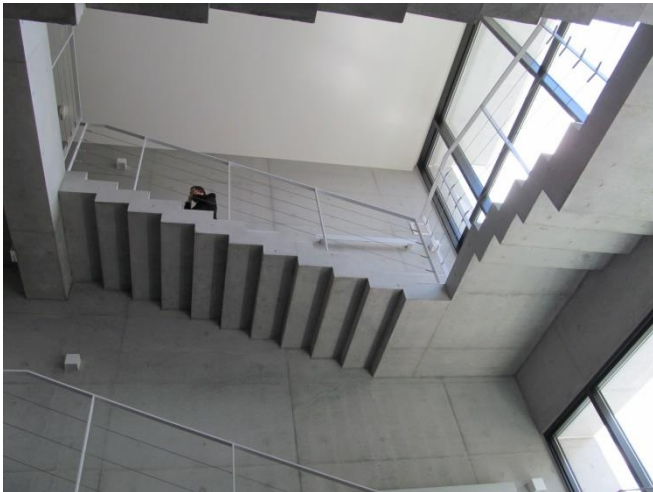
今年1月17日に竣工式を執り行い、1月22日に、関市長と災害時の施設利用に関する協定を結びました。災害があり、万が一、近隣の方の家が住めない状態になった場合、一時避難所としてここに寝泊まりして頂けるという事が一番メインになります。その他、敷地全体の中で旧社屋も含め、施設を利用して頂くということで考えております。

私ども青協建設の生い立ちというのは、玄関のロビーにも掲示してありますが、青年団OBで勤労奉仕、今でいうボランティアを、昭和28年7月の豪雨

災害時の大雨が降ったときに勤労奉仕をしたことが、当社のはじまりとなっております。これだけの社屋ができるまでになった現在、先人の想いを達成したかったという思いがあります。この地域の防災拠点、社会に貢献する、関市に貢献するという事で考えております。今日はゆっくりと見て頂ければと思っております。よろしくお願い致します。



* 新社屋見学



* 免震装置



新社屋について (資料から一部抜粋)

コンセプト～地域の防災拠点として～

□防災拠点として強固な耐震性を確保します

- ・基礎免震構造を採用し地震時の揺れを大幅に抑えます

- ・天井落下を考慮した天井レス構造の採用

- ・非常電源設備 (72 時間) や非常用WC の設置

- ・水害に配慮した床レベル設定

- ・関市と連携した避難場所を施設内各所に設けます

□環境に配慮した省エネルギー建築を目指します

- ・ルーバーや庇、プロテクトウォールによる日射制御

- ・ペアガラスの採用

- ・免震ピットの強制換気システム

□コミュニケーションを重視した平面計画とします

□規模

敷地面積 4342.39 m² 建築面積 1002.63 m²

延床面積 2671.16 m² 建蔽率 24% 容積率 62%

階数 地上 3 階 (地階に免震見学ホール)

軒高さ 12.11m 最高高さ 12.78m

建物深さ -1.8m 階高 3640mm 各階

一階レベル GL+950mm (水害対策)

<次例会の案内>

第 1975 回 2019 年 5 月 23 日 (木)

卓 話 国際ロータリー第 2630 地区

職業奉仕部門委員長 山本和彦様

テーマ 「わかりやすい職業奉仕」

担 当 職業奉仕委員会